

大分大学派遣留学生支援制度（短期研修型）実施報告 （環境・予防医学講座）

2019年4月～6月までの約3ヶ月間、アメリカのボストンにある Brigham and Women's Hospital への研究留学を行いました。

医学科4年次生 岩崎もにかさんの感想

Brigham and Women's Hospital は、Harvard Medical School の関連病院のひとつで、数々の病院、研究施設が集中したエリアにあります。このような環境の中であったため、メインの研究活動以外にも、数多くのレクチャーやカンファレンスに参加したり、他の研究施設の見学を行いました。

研究活動としては、大腸がんの疫学研究を行い、R という解析ソフトを使ってデータの解析を行いました。統計の勉強をしつつ、初めて使うソフトを習得しながら解析を行うことは、はじめはすごく大変でしたが、自分から積極的に先生方とコミュニケーションを取ることで、色々なアドバイスをいただくことができました。また、今回携わったのは、データサイエンスという分野であり、今後の医療の発展に欠かせない分野であると認識するとともに、その分野の最先端の研究者が集まる環境にいたることができたのはとても刺激的でした。

研究活動以外には、現地に同時期に留学していた他大学の医学生や、日本人駐在員と交流をしたり、ラボのメンバーとお祭りに行くなど、充実した日々を過ごしました。

3ヶ月は短い期間でしたが、今回の経験を生かして、残りの学生生活を有意義に過ごすことができればと考えています。また、医療業界に携わる方法として、多様な働き方があるということも知ることができ、今後進路選択をしていく上で、貴重な経験となりました。このような機会を与えてくださった皆様に感謝申し上げます。



研究活動を行っていた建物



世界医師会会長 講演会の様子



ハーバード公衆衛生大学院の建物